



第33号 2024年11月 発行
合志市立図書館
<http://www.koshi-lib.jp/>



新ぶん

No.33



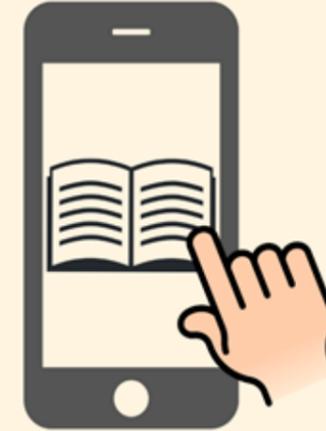
江戸の本に酔いしれる

きくち市・おおづ町・きくち町・こうし市
きょうどうんえい

きくち圏域 電子図書館

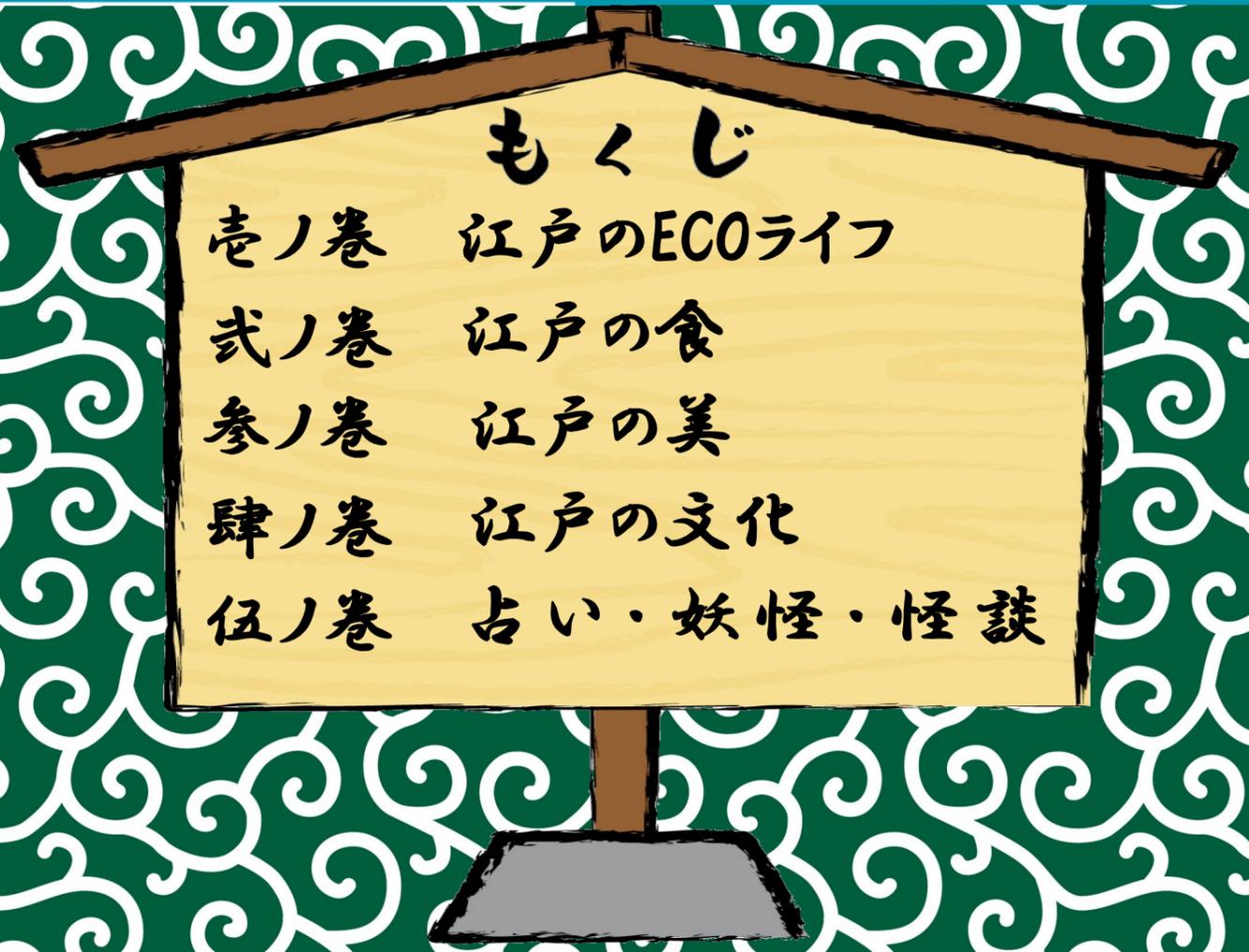
が使えます

いつでも
どこでも
本がよめるよ



利用のしかた *User's Guide*

- 01 **利用できるひと**
合志市にすんでいて、
図書館カードをもっているひと。
- 02 **利用のきまり**
貸出・本の予約：3冊まで
貸出期間：15日間
(予約がなければ1回まで延長できます)
- 03 **IDとパスワード**
IDは図書館カードにある9ケタの数字です。
最初はみんなの誕生日がパスワードに
なっているよ。
(例) 2012年7月1日生まれの人→20120701(半角)
- 04 **わからないときは...**
カウンターに尋ねてみてね!



もくじ

- 壱ノ巻 江戸のECOライフ
- 貳ノ巻 江戸の食
- 参ノ巻 江戸の美
- 肆ノ巻 江戸の文化
- 伍ノ巻 占い・妖怪・怪談

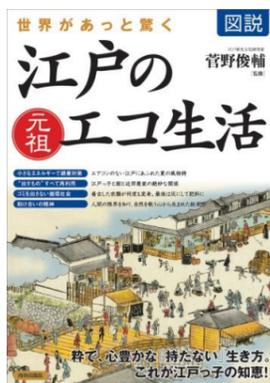
江戸のECOライフ



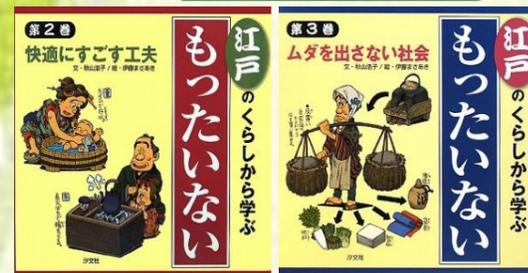
江戸時代の暮らしが今、注目されています。
現代のように物が豊かではなかった分、江戸時代の人々は知恵と工夫で幸せな生活を送っていました。環境面から見ても、江戸はリサイクルシステム万全で、とても優れた社会でした。



『図説 世界があっと驚く
江戸の元祖エコ生活』
菅野 俊輔/監修 【青春出版社】
この本は、モノが無くても明るく伸び伸びと生きた江戸の人々のようすを、江戸時代に出版された本の挿絵などを使って表したものです。
地球にも人にも優しい、江戸流「持たない生き方」。日本の元祖エコライフを江戸の庶民から学ぼう！



『江戸の暮らし 完全版』【双葉社】
ごみのない安全な町、あけっぴろげな湯屋、大道芸人の華麗な技、美食ぞろいの江戸前グルメ・・・日本を訪れた外国人が驚いた、江戸の粋な暮らしぶり。



『江戸の暮らしから学ぶ
もったいない 第1巻～第3巻』
秋山 浩子/文 【汐文社】

日本には古くから伝わる「もったいない」という考え方があります。「もったいない」が多い現代社会と、知恵と工夫が詰まった江戸の暮らしを比べて、あまり意識することのない日常生活の「もったいない」を探そう！

- 第1巻 ゴミをへらす知恵
- 第2巻 快適にすごす工夫
- 第3巻 ムダを出さない社会



『エコでござる-江戸に学ぶ』
石川 英輔：監修 【鈴木出版】

- 1の巻 江戸のびっくり省エネ生活
- 2の巻 江戸のおどろきリサイクル生活

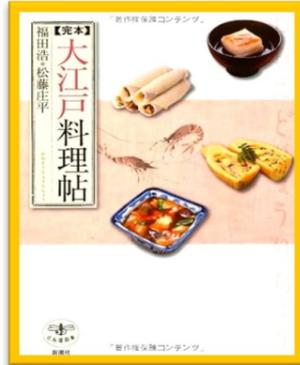
現代のエコやリサイクルはどうなってるの!?

～おすすめの本～

- 『るるぶマンガとクイズで楽しく学ぶ! SDGs』
笹谷 秀光/監修 【JTBパブリッシング】
- 『HOPE 地球を守るために毎日みんなのできること』
Penguin Random House Australia/作 【化学同人】



江戸の食



『完本大江戸料理帖』

福田 浩／著 【新潮社】

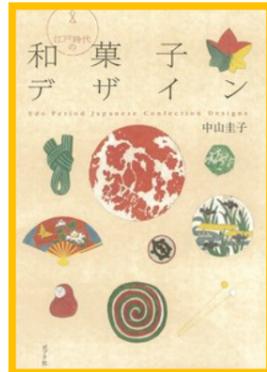
著者が、江戸時代に刊行された料理本を読んで研究し、その料理を再現したレシピ本。



『江戸時代の和菓子デザイン』

中山 圭子／著 【ポプラ社】

四季折々の自然風物を美しく形づくる和菓子。現代の商品カタログのような菓子絵図が紹介され、魅力あふれる和菓子デザインが楽しめます。



『鷹將軍と鶴の味噌汁』

菅 豊／著 【講談社】

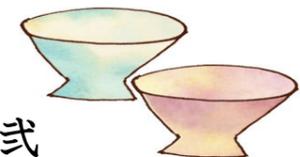
江戸の人々は、多くの「野鳥」を多彩な調理法で食していた。現代人が捨ててしまった、鳥食文化の全体図を描いた一冊。



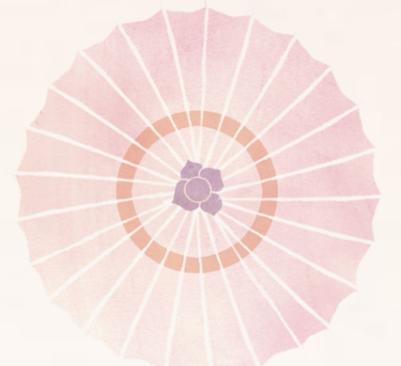
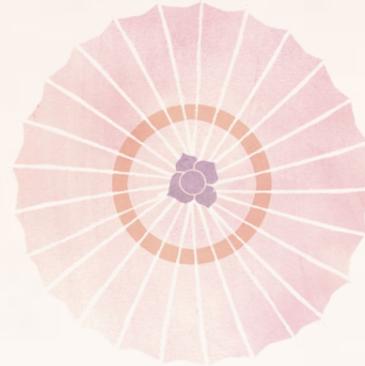
『落語にみる江戸の食文化』

旅の文化研究所／編 【河出書房新社】

落語から江戸の食文化を読み取る。江戸の風俗とそこからうかがい知れる日本文化の型を明らかにする。食材、食器、道中の食事、殿様の食卓と、多方面から考察する。



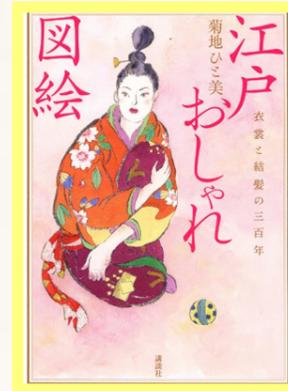
江戸の美



『江戸おしゃれ図絵』

菊地 ひと美／著 【講談社】

絵師・菊地ひと美が描き下ろした、粋でいなせてエレガントな江戸300年のファッション流行史。



『絵でみる江戸の女子図鑑』

善養寺 ススム／文・絵 【廣濟堂出版】

錦絵のリメイクをもとに、江戸時代の女性たちの暮らしとファッションを解説する本。時代小説と一緒に読むのもおススメ。



『お江戸ガールズライフ』

江藤 千文／文 【フロンズ新社】

江戸後期のバイタリティあふれる江戸娘たちの魅力を紹介する一冊。江戸っ娘のお洒落、遊び、恋、生き方を知ることができる一冊。



江戸の文化



『出てこい、写楽!』

～蔦重編集日記～ 【静山社】
楠木 誠一郎/作 平沢 下戸/絵

●日本橋にある版元「耕書堂」では東洲斎写楽の絵が飛ぶように売れた。しかし写楽が突然、部屋に引きこもってしまう…。

江戸時代の本は高価で、庶民が気軽に買えるものではありませんでした。それでも江戸の庶民に広く読書文化が広まった背景には、「貸本屋」の存在が大きく影響しています。



『江戸のジャーナリスト 葛飾北斎』

千野 境子/著 【国土社】

●『富獄三十六景』がパスポートに、ビッグ・ウェーブこと『神奈川沖浪裏』が千円札に登場など、今も人気の北斎。90歳まで絵筆を執った北斎にスポットライトをあて、その魅力や謎を探り、北斎とは何者なのかを解き明かす。

『江戸時代の文化』

江戸で花開いた「化政文化」

深光 富士男/著 【河出書房新社】



●江戸時代後期を中心にした「化政文化」を、当時の絵とともに解説。

ストーリーで楽しむ日本の古典!

『南総里見八犬伝』

越水 利江子/著 十々夜/絵
【岩崎書店】

●江戸時代後期に曲亭馬琴によって著わされた長編小説。犬がつく苗字で、不思議な珠をもつ八剣士が、協力し合って里見家に集結する物語。



占い・妖怪・怪談

江戸時代は、庶民が「怖さ」を楽しむことが一般的になり、怖い話を集めた「百物語」や、怪談会や書籍など様々な形式で展開されて、大きく広がって きました。「怖がる」ことを楽しむ文化は、現代まで受け継がれています。



『みたい! しりたい! しらべたい! 日本の占い・まじない図鑑2』
中町 泰子/監修 【ミネルヴァ書房】

占い、まじないが流行した江戸時代! 江戸時代に親しまれるようになった占い・まじないを写真やイラストとともに紹介。

『東海道四谷怪談』

上杉 可南子/マンガ 平田 喜信/監修 【くもん出版】

日本の古典をマンガでさきどり! 江戸の町を舞台にした、怪談劇の代表作「東海道四谷怪談」をマンガでわかりやすく描く!



こわい! 不思議! 『江戸の怪談絵事典』
近藤 雅樹/監修 【PHP研究所】

「東海道四谷怪談」などの怪談を、代表的な場面を描いた浮世絵とともに紹介する。怪談をもっと楽しむための本!



『妖怪がやってくる』

佐々木 高弘/著 【岩波書店】

「妖怪」と聞いて、何を思い浮かべますか? 古代から現代までのさまざまな文献を用いて、妖怪の正体に迫ります。



こちらもおすすめ! 現代の占いBOOK!

- 『日本で一番わかりやすい誕生日占いの本』 はづき 虹映/著 【PHP研究所】
- 『Hey, KITARO妖怪占い』 飛永 翼/占い監修【宝島社】
- 『たべっ子どうぶつ占いBOOK』 ギンビス/著 【双葉社】

